

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第6部門第2区分
 【発行日】令和4年11月8日(2022.11.8)

【国際公開番号】WO2022/113510
 【出願番号】特願2022-516388(P2022-516388)

【国際特許分類】

G 0 2 B 7/04(2021.01)

G 0 3 B 5/00(2021.01)

G 0 3 B 15/00(2021.01)

G 0 3 B 30/00(2021.01)

H 0 4 N 5/225(2006.01)

10

【F I】

G 0 2 B 7/04 E

G 0 3 B 5/00 J

G 0 3 B 15/00 V

G 0 3 B 30/00

H 0 4 N 5/225 4 0 0

【手続補正書】

20

【提出日】令和4年3月14日(2022.3.14)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

固定部と、

前記固定部に対して離間して配置される可動部と、

前記固定部に対して前記可動部を支持する支持部と、

圧電素子及び前記圧電素子の振動に共振する能動要素を有する超音波モーター、並びに前記能動要素に対して相対的に移動する受動要素を有し、前記能動要素及び前記受動要素が、付勢された状態で当接するよう構成され、前記固定部に対して前記可動部を移動させる駆動ユニットと、を備え、

30

前記受動要素の受動側接触部は、前記能動要素の能動側接触部よりも硬度が高く、前記受動要素とは別部材のセラミック材で構成されている、光学素子駆動装置。

【請求項2】

前記受動側接触部は、前記能動側接触部よりも表面粗さが小さい、

請求項1に記載の光学素子駆動装置。

40

【請求項3】

前記受動要素は、前記能動側接触部に対して前記受動側接触部を付勢する、

請求項1又は2に記載の光学素子駆動装置。

【請求項4】

前記受動側接触部の厚みは、前記受動要素の厚みよりも小さい、

請求項3に記載の光学素子駆動装置。

【請求項5】

前記セラミック材はジルコニアである、

請求項1から4のいずれか一項に記載の光学素子駆動装置。

50

【請求項 6】

請求項 1 から 5 のいずれか一項に記載の光学素子駆動装置と、
前記可動部に装着される光学素子と、
前記光学素子により結像された被写体像を撮像する撮像部と、を備える、
カメラモジュール。

【請求項 7】

情報機器又は輸送機器であるカメラ搭載装置であって、
請求項 6 に記載のカメラモジュールと、
前記カメラモジュールで得られた画像情報を処理する画像処理部と、を備える、
カメラ搭載装置。

10

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

本発明に係る光学素子駆動装置の一態様は、
固定部と、
前記固定部に対して離間して配置される可動部と、
前記固定部に対して前記可動部を支持する支持部と、
圧電素子及び前記圧電素子の振動に共振する能動要素を有する超音波モーター、並びに
前記能動要素に対して相対的に移動する受動要素を有し、前記能動要素及び前記受動要素
が、付勢された状態で当接するよう構成され、前記固定部に対して前記可動部を移動させ
る駆動ユニットと、を備え、
前記受動要素の受動側接触部は、前記能動要素の能動側接触部よりも硬度が高く、前記
受動要素とは別部材のセラミック材で構成されている。

20

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】削除

【補正の内容】

30

40

50